

合、子供なのか、娘なのか、武士なのか、奴なのか、船頭なのか 実際の人物を写すことで表現する
わけです。

目一つにしても何をみているのか、月を見ているのか 鳥を追っているのか 咲いている花を見て
いるのか 散る花をみているのか。

踊りで大切な小道具に扇子があります。見立てといひまして、盃にしたり、キセルにしたり、傘
に、刀に、長刀に使います。又自然現象 雪や雨風 荒波 さざ波 見たり、隠れたり ながめたり
表現にはてしがありません。

踊りと出会ったおかげで いろいろの人物に変身する喜びも知りました。清十郎恋しさに気のふれ
たお夏であったり、仇討ちの曾我の五郎であったり 時々稽古でいろいろの人物を踊りながら、私は
人の100倍人生を楽しんで生きている気がします。

日本舞踊はいやおうなく足腰が鍛えられますし、この身と扇子と浴衣1枚あればやれますので稽古
事としたら1番良いのではないかと思います。身につくものですから自分自身が作品でもあります。

最近漸く日本が日本の伝統芸能文化を大切にしようという動きになってきたようで嬉しいのです
が、海外に行かれた方、又住んでいらっしゃる方が言われることですが、外国にいて何を期待されて
いるかという日本人であることだと、外国に居ると日本の芸能文化を身につけて置くことの大切さ
を実感すると言われます。

今日ご出席のそれぞれの道でご活躍の北ロータリークラブの皆様 北ロータリークラブに日本舞踊
クラブができますよう祈念しつつ日本のおどり日本舞踊についてのお話しを終わりたいと思います。

ありがとうございました。

会 員 の 声： 十三詣りの成人式

成人式の祝日が動くので本来の意味が解らなくなった。

三条では成人式は雪のため3月20日に繰り下げて行われる。京都は4月13日（旧3月13日）に13歳
になった少年少女たちが、智慧福德を授かるために、虚空蔵さんにお参りする習わしがあるという。

この日には13歳の男女が、13種類の菓子を買ひ、十三佛の虚空蔵さんにお参りするので「十三詣
り」と言われるようになった。智慧もらひ、智慧参り、厄落とし、開運のために詣でるが、特に女の
子は四つ身から本裁の着物をきらびやかに着飾ると言われている。一種の通過儀礼であったと思われ
る。

ただ男子は15歳が成人式（元服）であるのに対し、女子は13歳が成人式であった。農村などで赤い
腰巻きと紺緋の仕事着を作ってもらひ、田植えの仲間入りができるのである。

早乙女というのは13歳の成人式を終えて、一人前に田に入ることができる娘さん達であった。

京都では昔、西陣織が盛んで、13歳になったら娘さんに着せて成長した姿を愛でたり、一度は着て
みたいという望みを叶えたり、成長を喜んだものである。

現代では成人式が形骸化され当人はその本当の意義を意識できないものが出てきた。

今は大人になるのが早いようで昔のように女子13歳、男子15歳の成人式くらいにして、社会人と
しての自覚を早めたらと思う。 笹原壮玄

2月24日例会：卓話「彫刻家 石川雲蝶」木原フォート所長 木原 尚様

3月2日例会：卓話 米山奨学生チュドリー、エムディ、ズバエル、アクタル君



Lend a Hand

会長／山本 賢

幹事／西山 斉

SAA／小林 繁男

三条北ロータリークラブ週報

手を貸そう

例 会 日
2004. 2. 17
累 計 No 838
当 年 No 31

国際ロータリー会長 ジョナサンB.マジアベ 第2560地区ガバナー 原 信一
ホームページ <http://www.rotary2560.net>

例会日／火曜日 12:30～13:30

例会場／三条ロイヤルホテル TEL34-8111 FAX34-8114

事務局／三条市西四日町3-15-34 ヒューマン・ハーバー内

TEL35-7160 FAX33-8972

メールアドレス north@sanjo-nrc.org ホームページ <http://www.sanjo-nrc.org>

行 事： 卓話「日本のおどり日本舞踊について」日本舞踊家 花柳雅鶴様

出 席： 本日の出席 60名中 44名

先々週の出席率 60名中 48名 80.0%（前年同期86.67%）

先週のメイクアップ： 2月10日 田上あじさいRCへ 安田貞夫さん

12日 加茂RCへ 山上茂夫さん

13日 クラブ奉仕（A）合同委員会（敬称略）

山本 賢、西山 斉、斎藤 正、佐藤義英

山上茂夫、樋口金占、外山晴一、米山忠俊

中條耕二、大野新吉、落合益夫、山崎 勲

木宮 隆、梨木建夫、阿部勝子

15日 米山奨学セミナー（長岡）西山 斉さん

16日 三条南RCへ 外山晴一さん

ゲ ス ト： 日本舞踊家 花柳 雅鶴様

ビ ジ タ ー： 新潟RCより 福井良英さん

会 長 挨 拶： 山本 賢会長



今日も先週に引き続き、NHK番組制作局チーフプロデューサー今井彰
氏のご講演された「プロジェクトX・挑戦者たち～逆境に負けない」から
抜粋して話させていただきます。私は「プロジェクトX」は人生の応援歌
だと思っています。

今の時代に欠けているもの、またプロジェクトにとって何が大事だかとい
うそれはテーマ性に尽きると思います。例えば、北海道に襟裳岬とい
う浜があります。ここは演歌歌手 森進一の歌にもありましたが、木材の

伐採で砂漠化してしまい、昔は昆布のよく取れる浜だったのですが、砂が海に流れ込んでしまい、ほ
とんど地域が崩壊した状態になってしまったそうです。しかし、そこで地元の人達が立ち上がり、40
年間かけて植林をして、世界に例のない、砂漠から森林復活というのを成し遂げたのです。それは、

漁師の方々が、毎日漁が終わると、モッコを担いで砂地を耕していったのですが、襟裳の地で生きてきた飯田常雄さんは「長男の最大の仕事、それは故郷を守ることだ。」と言い切ったそうです。そう言われた時に、砂漠緑化プロジェクトの人達にとっては、その地に残って子や孫にきちんとした形で伝えていかなければならないということが、非常に大きなテーマであったのです。テーマというのは、そんなに大したものでも、大げさなものでもなく本質的なものなのです。

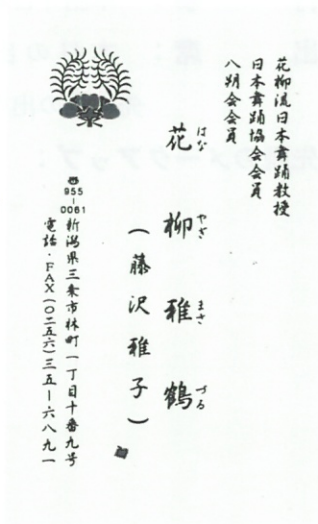
『人生は困難と挫折の連続ではないかと思います。しかし、その困難と挫折に必ず胚胎している「成長の種」を知る者にとっては、人生の困難と挫折は幸運な「成長のバネ」ということになります。困難と挫折を味わい尽くして、自らの志に向かって不撓不屈の挑戦を為し続けていく人生に、「空疎な失敗」はありえないと思います。

〈安岡正篤師の言葉より〉』

追伸

今日は花柳雅鶴様にご講話をしていただき誠にありがとうございました。日本舞踊の振り付けや意味合いを大変わかりやすく説明していただき、また、優雅で且つゆとりのある世界をのぞかせていただき非常に感動いたしました。もし、機会があればもう一度花柳様から日本舞踊を習いたいと思い、また、ご講話をお聞きしたいと心から思っております。

最後に花柳様の名刺をご紹介させていただきます。



幹事報告： 西山幹事

- ・分水RCより 創立30周年式典のご案内
日時 平成16年5月9日（日）13：40～
会場 分水町文化センター
- ・原GB, 横山GBエレクトより 会長エレクト研修セミナーのご案内
日時 2004年3月14日（日）9：30～
会場 ホテルイタリア軒
- ・新潟いのちの電話より 20周年感謝の集いご案内
日時 2004年4月17日（土）午後1時30分～
会場 朱鷺メッセ会議室
- ・原GBより 米山奨学期間修了者の歓送会ご案内
日時 2004年3月7日（日）11：00～
会場 ホテルニューオオタニ長岡

ニコニコボックス： 17日現在累計 737,000円

山本賢君 今井先生、先日は介護保健審会を流してしまい申し分けございませんでした。深く深くおわび申し上げます。

福井良英君 三条を離れ3年半あまりとなりました。久しぶりにメイクアップとなりました。今後ともよろしくお願いします。

梨本清一君 「花柳雅鶴さんのファンです」と言ったら、厚かましいかな？お話しが楽しみです。

石川勝行君 今年も又、3月15日まで1ヶ月を切りました。頑張っています。

小林繁男君 卓話御苦労様です。楽しみにしていました。藤沢さんよろしくお願いします。

本間建雄美君 「日本の踊りについて」卓話楽しみにしていましたが、私用の為、早退させて戴きます。失礼させて戴きます。

笹原壮玄君 花柳先生の卓話を楽しみに来ています。よろしく。

佐藤弘志君 花柳さんの卓話楽しみにして居ります。

梨木建夫君 同期生の花柳雅鶴さん、今日は卓話ご苦労様です。よろしくお願いいたします。

中條耕二君 花柳雅鶴先生の卓話を心から歓迎します。楽しみにしておりました。

羽賀一夫君 花柳先生おいそがしい中有難うございます。今後も千明共々宜しく願います。

佐藤啓策君 花柳雅鶴さん、卓話を引き受けてくれて、ありがとうございます。じっくりと楽しく拝聴させていただきます。日本一の日本舞踊家に成られますよう祈念しています。

青木省一君

堀川正幸君 BOXをよろしくお願いします。

米山奨学会：

西山斉君 「米山セミナー」に委員長代理で出席しました。ご協力を宜しく願います。

卓話： 「日本のおどり日本舞踊について」 花柳 雅鶴様



今日は日本のおどり「日本舞踊について」お話しする機会をいただき深く感謝申し上げます。

私と日本舞踊の出会いは小学生 今のようにテレビのない子供時代 三条の花柳界もまだ華やかで芸者衆が稽古事に追われ、本寺小路に三味線の音がいつも聞こえていた頃でした。

芸事好きの父の影響で踊りを習い始めました。中学、高校と中断したのですが高校を卒業、小説家を夢見て上京、住み込んだ社長ご夫妻にかわい

がられお茶とお花を習わせていただき、もっと何か習いたいことはと言われ子供の頃習った、日本舞踊を思い出し、見学に伺った方が私の師匠となりました。

花柳徳四郎の踊りに魅了され、踊りの世界に飛び込みました。今ではやればやるほど無限の魅力を秘めた日本舞踊の虜になっております。

日本舞踊は能がかった静的で直線的な舞楽的な舞の部分と躍動的で民俗芸能的な踊りの部分と芝居の物真似的な振りしぐさの部分で構成されます。日本舞踊では役柄を踊ることが大切で古典では文章に振りがついており物語性が強く、物真似的な表現で成り立っているので、文章を十分理解し、役柄をしっかりとつかんで踊ることが大切です。

と申し上げるととても難しいことのように思われるかもしれませんが、男である場合、女である場